

## SCPJ データメンテナンス結果報告

JPCOAR コンテンツ流通促進作業部会 SCPJ チーム

### 1 データメンテナンス概要

#### 1.1 目的

学協会著作権ポリシーデータベース (SCPJ) [1]は日本国内の学協会の機関リポジトリに対する論文掲載許諾状況を提供するデータベースです。2006年に国立情報学研究所 CSI 委託事業として筑波大学・千葉大学・神戸大学によってアンケート調査が実施され、2007年にデータベースとして公開されました。CSI 委託事業としては第3期(2010~2012年度)の調査で終了となりましたが、データベースはその後筑波大学を中心に運営されていました。

JPCOAR はオープンアクセス (OA) インフラ整備の一環として、2020年3月に筑波大学から SCPJ の運用を引き継ぎました。今回のデータメンテナンスは、長く大規模な更新が行われず、実態に即した情報になっていなかったデータを更新し、さらなる OA 推進に役立てることを目的として行われました。

#### 1.2 対象

データ更新作業は業務委託とし、期間と予算内で対応可能な範囲を検討した結果、SCPJ に登録されている 2,635 か所の学協会のうち、更新日が古いものから 2,034 か所 (ジャーナル単位では登録されている 3,212 件のうち、2,516 件) が対象となりました。

#### 1.3 方法

まず試行として、対象の 2,034 か所とは別の 50 か所に情報提供依頼を行い、回答率と作業負担を確認しました。

その後、対象となる学協会に対して情報提供依頼のメールを送信し、Google フォームから提供された情報に沿ってデータの修正を行いました。

データの修正は作業内容をマニュアル化し原則委託業者で行いましたが、判断に迷う個別の問い合わせなどは作業部会員で対応しました。

#### 1.4 期間

2020年12月~2021年2月

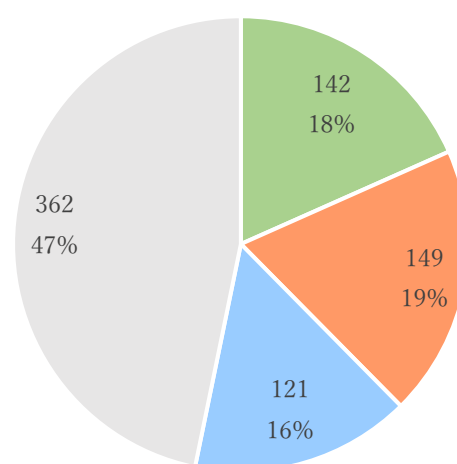
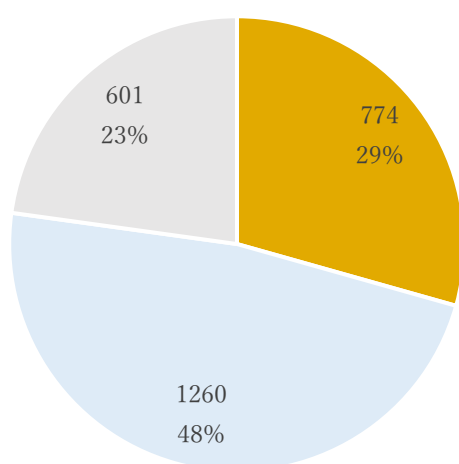
### 2 データメンテナンス結果

#### 2.1 留意事項

2020年12月10日時点でのデータと2021年6月15日時点のデータの比較なので、期間内の情報提供依頼を厳密に反映した結果ではありません。

## 2.2 結果

2020年12月10日時点でSCPJに登録されていたジャーナル3,212件のうち、更新日が2020年12月10日以降になっているジャーナルは774件、そのうちポリシーに変更のあったジャーナルは412件でした。さらにポリシーに変更のあったデータのうち、GrayやWhiteなどの非OAからGreenやBlueに変更となった、つまりOA化が進んだといえるジャーナルが142件、逆にこれまでGreenやBlueとしていたにも関わらず今回の更新でGrayやWhiteに変更となったジャーナルが149件でした。



- 回答があったジャーナル
- 回答がなかったジャーナル
- データメンテナンス対象外

- OA化が進んだジャーナル
- OAから遠ざかったジャーナル
- Gray・White間で変更になったジャーナル
- + ■ + ■ ポリシーに変更のあったジャーナル
- ポリシーに変更のなかったジャーナル
- + ■ + ■ + ■ (= ■) 回答があったジャーナル

詳細な内訳は次の通りです。

		更新後				
		Green	Blue	Yellow	Gray	White
更新前	Green		17	0	16	7
	Blue	20		1	98	26
	Yellow	1	1		2	0
	Gray	17	90	3		51
	White	4	28	0	30	

また、新規に追加されたジャーナルが 83 件ありました。

Green	Blue	Yellow	Gray	White
7	33	0	34	9

なお、ポリシーカラーの定義は以下の通りです。

Green	査読前・査読後のどちらでもよい
Blue	査読後の論文のみ認める
Yellow	査読前の論文のみ認める
Gray	検討中・非公開・無回答・その他
White	リポジトリへの保存を認めていない

今回更新された 774 件のジャーナルが前回更新された年は次の通りでした。

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
0	495	78	167	5	1	1	12	2	4	3	6

また、今回のデータメンテナンスで更新されなかったジャーナルの最終更新年は次の通りです。

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
2	1167	270	399	190	51	43	63	41	93	38	81

### 2.3 懸念事項

期間中に数十か所の学協会からの問い合わせを受けましたが、「これまでの経緯を把握していない」「どのポリシーカラーに当てはまるかわからない」といった問い合わせが目立ちました。特にポリシーカラーについては、「エンバーゴがある場合は White で合っているか」「Gold はなかったか」といった誤解が多くみられました。

## 3 評価と今後の課題

### 3.1 評価

今回のデータメンテナンスで、長年更新できていなかったジャーナルについて最新の情報を反映できた点は有意義でした。また今回の調査に回答があったジャーナルのうち、約半数ものジャーナルでポリシーの変更があることが判明しました。OA 化が進んだジャーナルや新規に追加されたジャーナルもあり、より充実したデータベースになりました。

### 3.2 課題

2.2 の結果にもある通り、ポリシーの変更によって OA から遠ざかってしまった

ジャーナルが19%ありました。原因として考えられるのは、主に次の通りです。

① ポリシーカラーのわかりにくさ

問い合わせ対応の中でポリシーカラーを誤解している学協会が散見されたことから、間違った理解から実体とは異なる情報を提供してしまったケースが含まれていることが推測されます。今後の情報提供対応では誤解がないかを確認しながらデータ更新を行っていく必要があります。また今回 OA から後退してしまったジャーナルの情報に間違いがないか、本当に OA から遠ざかってしまったのかを再度確認できると、日本の学協会への OA の浸透具合や啓発の必要性を知る一助になるのではないのでしょうか。

またポリシーカラーに Green が含まれているためか、Gold OA 等と混同してしまうこともあるようです。現在のポリシーカラーでは出版社版の公開が可能かどうか分からないといった問題もあります。Sherpa Romeo もポリシーカラーを廃止しましたし、SCPJ もデータベースの項目について見なおすべき時期にきているのかもしれないかもしれません。

② SCPJ の認知度の低さ

期間中に数十か所の学協会から問い合わせを受け、SCPJ の認知度の低さが判明しました。今後の更新についても定期的に働きかけていけると、SCPJ の認知度が上がり、回答率の増加や誤解の低減につながるのではないのでしょうか。

### 3.3 まとめ

今回のデータメンテナンスで多くのデータを更新できましたが、新たに判明した課題もいくつか残りました。SCPJ は日本国内のジャーナルの OA 推進には欠かせない基盤です。今後も定期的なメンテナンスと学協会への働きかけが必要になりますし、利用会員の JPCOAR 作業部会への参加と SCPJ 運営への助力を望みます。

コンテンツ流通促進作業部会 SCPJ チーム

大谷 周平 (琉球大学)

菅原 光 (一橋大学)

林 豊 (国立情報学研究所)

藤田 祥子 (筑波大学)

松村 友花 (神戸大学)

(2020 年度メンバー)